

調べてみよう わたしたちのくらしと税

税金は、わたしたちが豊かで安心してくらししていくために、公共サービスや公共施設など、いろいろなかたちで使われています。

税金が、わたしたちの身近なところでどのように役立てられているか調べてみましょう。

ある一日のくらしの中をみてみましょう

身近なところで税金が使われています。



◆毎日通る道路に

わたしたちが、安全に通学できるように、道路を整備しています。

◆今日はゴミの収集日

衛生的な生活がおくれるように、ゴミの収集や処理をおこなっています。



◆今日も元気に学校へ

だれもがよりよい教育を受けられるように、みんなに教科書を配るほか、校舎や机・いすを整備しています。

◆文化的なくらしのために

好きな本を読んだり、調べものをするために地域ごとに図書館を整備しています。



◆安全な生活のために

安心して安全な生活がおくれるように、警察や消防、救急などの公共サービスをおこなっています。

公共サービスとは？

ゴミの収集や処理、安全を守る警察や消防・救急など、わたしたちの生活に欠くことができないもので、役所がおこなう仕事をいいます。

公共施設ってなに？

図書館や公園、学校など、みんなのためにつくられた建物などをいいます。

公共とは「みんなの」、施設とは「建物や設備」のことです。

し せつ 公共施設をさがしてみましょう

まちの中には、税金を使ってつくられた公共施設があります。

公共施設だと思うもの（ ）に○をつけてみましょう。



答えは8ページの下にあります。



アクアラインと海ほたる

写真提供：千葉県

こんなにたくさんの
公共施設があるなんて
びっくり。

「ちばアクアラインマラ
ソン」の舞台になってい
るアクアラインと海ほた
るも税金でつくられたも
のなんだよ。

